

随想 ～ 聖ヨゼフ病院旧棟解体に寄せて ～
社会福祉法人聖テレジア会聖ヨゼフ病院
病院長 柴田 朋彦



聖ヨゼフ病院は、米海軍横須賀基地第四代司令官デッカー大佐が旧海軍横須賀海仁会病院をブルトン司教に託され1946年開院しました。旧棟は湾曲しバウムクーヘンを1/3に切ったようなシルエットが特徴で、20世紀の歴史的・文化的建物を評価する国際組織DOCOMOMOに登録されています。2020年3月病院の建て替えが完了し病院機能は新棟へ移転しました。同時に旧棟はその役割を終え、2022年7月から解体が開始されます。長い歴史の中、この病院で生まれた方、病と闘った方、最後の時を迎え旅立たれた方、病院を支えてくださった職員、たくさんの方々の思い出が旧棟にはあります。

私は2002年に当院へ着任しました。当時は総合病院で内科、外科、整形外科、産婦人科、小児科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科など多くの診療科がありました。旧棟に入るには急な坂を登らねばならず、自分で登れる内はまだ元気だと患者様によく言うておりました。建物は所々傷んでおりましたが、熟練の施設課職員が補修を繰り返しながら大事に使っていました。病院の4階は増築された階で、大雨が降るとよく雨漏りがしたものです。また、旧棟の廊下は湾曲しており端から端が見渡せず、ベッドで患者様を搬送する際は真っ直ぐに進めず、湾曲に沿って曲がりながら移動していました。3階には産婦人科が有り、元気な赤ちゃんの泣き声が響いていました。2階の端には当直室が有り幽霊が出るとささやかれていましたが、私は一度もお目にかかりませんでした。患者様や共に働いた職員の思い出は数えきれないほどあります。そこで教えていただいた事は私達の心の中に生き続け、新棟に引き継がれております。

当院の理念は「キリストの生き方に基づいた惜しみない人間愛」です。それを実践する為には、職員をはじめ私達を支えてくださる多くの方々を大切にして、医療技術の研鑽に励み、患者様に思いやりの心を持って接する事が大切だと考えております。新たな命を吹き込まれた新病院が、横須賀の地域医療に貢献できるよう今後も努めて参りたいと思います。また、医学・看護・リハビリテーションなど多様な分野で人材の育成にも力を注いで行きたいと思います。

2022年7月16日

